

## 【院内学習会】原発のストレステストの問題点

9月15日、衆議院第二議員会館にて、プラント技術者の会、NPO 法人原子力資料情報室、柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会主催の学習会が開催されました。一般参加も可能でしたが **Ustream** (ユーストリーム) で中継されました。

<http://www.cnrc.jp/modules/news/article.php?storyid=1193>

9月12日、フランス南部低レベルの核廃棄物処理施設で大爆発があり、施設職員が大やけどで1名死亡、4名が重軽傷という事故が発生しました。

現地消防は放射能漏れの危険性を指摘したが、フランス原子力庁は「当面は放射性物質の外部への漏出はない」(報道官)とし、原子力事故としてではなく、通常の産業事故として対応に当たっています。

フランスで  
原発事故か！！

原発再稼働のための  
ストレステスト開始

7月6日、当時の海江田経産相は原発の安全性確保のため、全原発を対象にストレステスト(事故・災害への耐性調査)を行うことを明らかにしました。

それによって、柏崎刈羽原発の1・7号機のストレステストが9月9日から開始されました。

ストレステストとは、福島第一原発の事故を受けて国が新たに導入した安全評価で、コンピュータ上のシミュレーションを使って、地震や津波などに設備がどれくらい耐えられるかを確認するもの。1次・2次評価があり、1次評価は、定期検査で止まっている原発の運転再開の条件となっている。「ストレステストを通じて原発の安全性を確認する。」

ストレステストは、「原発が安全だから稼働します。」というためのテストだと思いますが、そのテスト自体が安全を確保できるテストかどうか問題だと思います。



### 【院内学習会：原発のストレステストの問題点】

#### 議題

1. 何故今、ストレステストなのか?
2. ストレステストを巡る経過
3. EUストレステスト仕様書の概要
4. EUストレステストの整理
5. 日本のストレステストとは?
6. 当局への質問と要求
7. まとめ

#### 1. 何故今、ストレステストなのか?

EUは、3. 11の福島原発事故を教訓に、同様の事故がEUで起きないようにすべての原発のリスクを見直すため、3月25日にすべての原発のストレステストを行うことを決定。

日本の原発も、ストレステストの報告結果によって、原発の運転再開か?

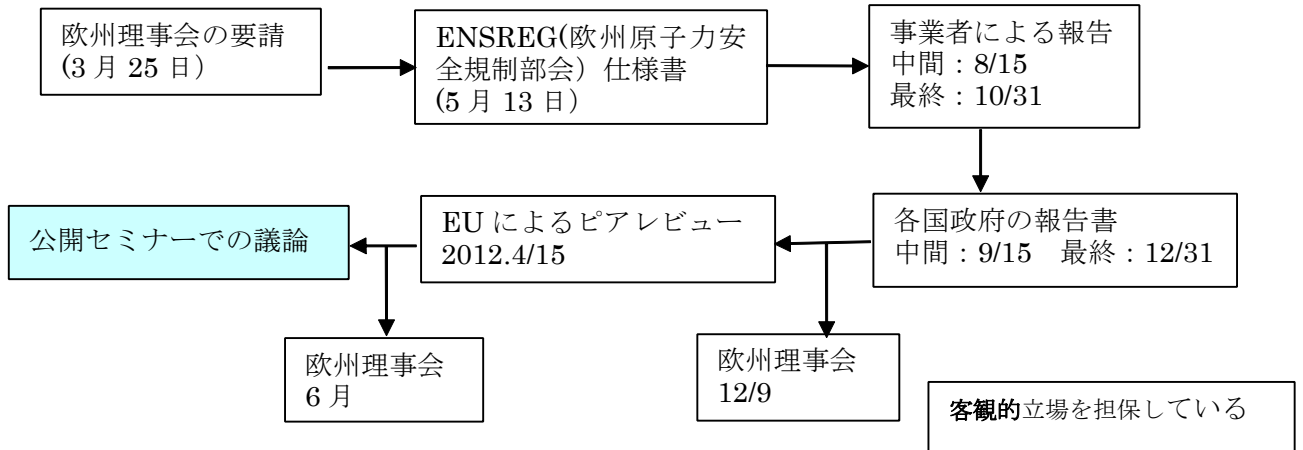
#### 2. ストレステストを巡る経過

- ・ 3月25日：EUストレステスト決定
- ・ 5月13日：EU事業者に対してストレステストを事業者に対して開始要請
- ・ 7月7日：菅前首相 ストレステストの実施発言
- ・ 7月22日：原子力保安院、各事業所に実施を指示
- ・ 9月9日：柏崎刈羽原発ストレステスト開始



7月11日付の3閣僚の声明内容には、稼働中・定期検査中の全原発の安全性は確認されていることが前提で、国民・住民の安心・信頼の確保のため実施すると読み取れます。安全性が確認されている前提がすでに間違っていると思います。

【EU ストレステストの手順】



公開と透明性の原則

- ・ EU のストレステストは、公開と透明性の原則がある。透明性は、「公衆への情報提供」と「公衆の関与」2つの活動分野に分けられる。
- ・ 「完全な透明性及び公衆参加の機会を提供することが EU 市民によるストレステストの認知に寄与する。

ピアレビューとは：同じ研究分野での専門家による吟味、検証。  
EU のピアレビューは、14 国からの報告書検証。  
1 チーム 7 名の専門家。専門家は当該国の検証に関与できないなど。

市民意識の歴史の違いもある

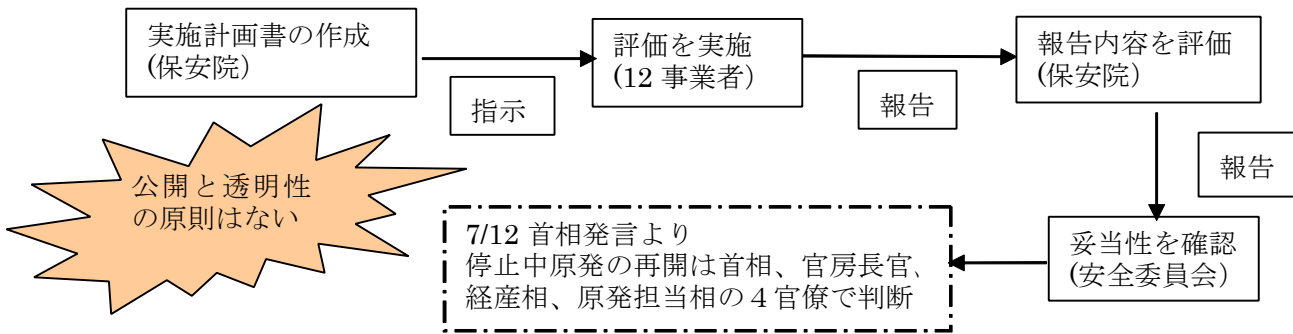
【EU のストレステスト】

明確・公開と透明性・決定論的手法・改善も検証・マネジメント的検証

【EU のストレステストの欠けている点】

- ・ 再処理施設と高速増殖炉の対象が不明
- ・ 故障や小事故を原因として過酷事故に至る可能性の検討
- ・ 多重防備システムの検証が中心
- ・ 火災・人的ミス・テロ・飛行機墜落への考慮がない など

【日本のストレステストの手順】



【日本のストレステスト実施計画書の問題点】

- ・ EU 仕様書の都合の悪い箇所は採用しない姿勢が見られる。
- ・ 公開と透明性の原則には一切言及していない 他多数

EU でも 3 月中に欧州理事会が動いているのに、当事国である日本は後手に動いています。

EU のストレステストでも問題点がいくつかあるようですが、それに似せている日本の仕様書は都合の悪いところは省き、さらに、公開はされずに決定されるという、安全への信頼は全く感じられないと思います。



内容は、院内学習会で使用された「プラント技術者の会」の資料から抜粋しました。

2011 年 09 月 24 日 文責：しむら